

令和元年6月18日

お 知 ら せ

岡山県立大学事務局
教学課長 駒井 俊彦
電話(0866)94-9160

令和3(2021)年度岡山県立大学入学者選抜における変更について
(第3報)

このことについて、次のとおり予告しますので、お知らせします。

記

- ・令和3(2021)年度岡山県立大学入学者選抜における変更について(予告)
【第3報】

令和3(2021)年度岡山県立大学入学者選抜における変更について(予告)

【第3報】

令和元年6月18日

令和3年度岡山県立大学入学者選抜を次のとおり変更する予定ですので、お知らせします。

なお、内容は、現時点のものであり、今後の状況により変更となる場合がありますので、本学からの発表に注意してください。

記

- 1 令和3年度入学者選抜（一般選抜）の実施教科・科目等 別紙1
第3期中期計画期間中に改編が予定されている学科について、令和3年度一般選抜における実施教科・科目を別紙のとおりとします。
なお、学科名等については、設置構想中のため、掲載内容については予定であり、変更になる場合があります。

- 2 令和3年度入学者選抜における変更《関係学部》
 - (1) 保健福祉学部 別紙2
 - (2) デザイン学部 別紙3

令和3年度岡山県立大学入学者選抜（一般選抜）の実施教科・科目等

<保健福祉学部>

現代福祉学科（設置構想中）

日程	試験区分	教科	科目		
前期 日程 後期 日程	大学入学共通テスト	国語	「国語」		必須
		地理歴史	「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」		から1又は2(理科の「基礎を付した科目」から2) (注)
		公民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」		
		数学	「数学Ⅰ・数学A」, 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」		
		理科	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」		
	「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」		から2		
外国語	「英語(リスニングの成績も利用する)」		必須		
個別学力検査等	面接				

(注) 解答した全ての科目(「地理歴史と公民」及び「理科(基礎を付さない科目)」)において2科目を解答した場合は、それぞれ第1解答科目のうち、得点の最も高いものを選んで入学者選抜に用います。

※ 学部共通の注意事項(下欄)も参照してください。

子ども学科（設置構想中）

日程	試験区分	教科	科目		
前期 日程 後期 日程	大学入学共通テスト	国語	「国語」		必須
		地理歴史	「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」		から1又は2(理科の「基礎を付した科目」から2) (注)
		公民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」		
		数学	「数学Ⅰ・数学A」, 「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」		
		理科	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」		
	「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」		から2		
外国語	「英語(リスニングの成績も利用する)」		必須		
個別学力検査等	面接				

(注) 解答した全ての科目(「地理歴史と公民」及び「理科(基礎を付さない科目)」)において2科目を解答した場合は、それぞれ第1解答科目のうち、得点の最も高いものを選んで入学者選抜に用います。

※ 学部共通の注意事項(下欄)も参照してください。

(注:学部共通)

- 「簿記・会計」と「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。
- 「英語(リスニングの成績も利用する)」については、「リーディング」及び「リスニング」の両方の解答を必須とします。ただし、重度難聴などで「リスニング」を免除された者を除きます。
なお、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」の得点を外国語の教科の配点に換算します。
- 理科の「基礎を付した科目」は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」を指し、理科の「基礎を付さない科目」は、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」を指します。

<デザイン学部>

ビジュアルデザイン学科(設置構想中)

日程	試験区分	教科	科目		
前期 日程	大学入学共通テスト	国語	「国語」		必須
		地理歴史	「世界史A」,「世界史B」,「日本史A」, 「日本史B」,「地理A」,「地理B」	から1	から2 (注)
		公民	「現代社会」,「倫理」,「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」		
		数学	「数学Ⅰ・数学A」,「数学Ⅱ・数学B」,「簿記・会計」, 「情報関係基礎」		
		理科	「物理」,「化学」,「生物」,「地学」	から1	
	外国語	「英語(リスニングの成績も利用する)」		必須	
	個別学力検査等	実技(想定描写を含む鉛筆デッサン)			

(注) 解答した全ての科目(「地理歴史と公民」及び「理科(基礎を付さない科目)」において2科目を解答した場合は、それぞれ第1解答科目)のうち、得点の高いものを選んで入学者選抜に用います。

※ 学部共通の注意事項(1頁)も参照してください。

工芸工業デザイン学科(設置構想中)

日程	試験区分	教科	科目		
前期 日程	大学入学共通テスト	国語	「国語」		必須
		地理歴史	「世界史A」,「世界史B」,「日本史A」,「日本史B」, 「地理A」,「地理B」	から1又は2(理科の「基礎 を付した科目」から2) (注)	
		公民	「現代社会」,「倫理」,「政治・経済」,「倫理, 政治・経済」		
		数学	「数学Ⅰ」,「数学Ⅰ・数学A」,「数学Ⅱ」,「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」,「情報関係基礎」		
		理科	「物理」,「化学」,「生物」,「地学」	から2	
		「物理基礎」,「化学基礎」, 「生物基礎」,「地学基礎」			
外国語	「英語(リスニングの成績も利用する)」		必須		
	個別学力検査等	実技(鉛筆デッサン)			

(注) 解答した全ての科目(「地理歴史と公民」及び「理科(基礎を付さない科目)」において2科目を解答した場合は、それぞれ第1解答科目)のうち、得点の最も高いものを選んで入学者選抜に用います。

※ 学部共通の注意事項(1頁)も参照してください。

建築学科(設置構想中)

日程	試験区分	教科	科目		
前期 日程	大学入学共通テスト	国語	「国語」		必須
		地理歴史	「世界史A」,「世界史B」,「日本史A」, 「日本史B」,「地理A」,「地理B」	から1:①	①又は② (注)
		公民	「現代社会」,「倫理」,「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」		
		数学	「数学Ⅰ」,「数学Ⅰ・数学A」	から1	
			「数学Ⅱ」,「数学Ⅱ・数学B」,「簿記・会計」, 「情報関連基礎」	から1	
	理科	「物理」,「化学」,「生物」,「地学」	から1:②	①又は② (注)	
外国語	「英語(リスニングの成績も利用する)」		必須		
	個別学力検査等	実技(与えられた条件(図や文章)を満たす立体物の作図)			

(注) 解答した全ての科目(「地理歴史と公民」及び「理科(基礎を付さない科目)」において2科目を解答した場合は、それぞれ第1解答科目)のうち、得点の最も高いものを選んで入学者選抜に用います。

令和3年度入学者選抜における変更《保健福祉学部》

1 募集人員の変更（一般選抜・学校推薦型選抜・総合型選抜）

<令和2年度入学者選抜>

※下線部分が変更箇所

学 科	専 攻	入学定員	左のうち			
			一般入試			推薦入試
			前期日程	中期日程	後期日程	
保健福祉学科	社会福祉学専攻	40人	24人	—	4人	12名
	子ども学専攻	20人	10人	—	4人	6人



<令和3年度入学者選抜>

※下線部分が変更箇所

学 科	入学定員	左のうち				
		一般選抜			学校推薦型選抜	総合型選抜
		前期日程	中期日程	後期日程		
現代福祉学科	35人	17人	—	4人	11名	3人
子ども学科	25人	13人	—	4人	8人	—

2 選抜方法の変更(学校推薦型選抜)

(1)選抜方法の変更

<令和2年度入学者選抜>

※下線部分が変更箇所

学 部	学科・専攻	選抜方法
保健福祉学部	保健福祉学科社会福祉学専攻	書類(調査書及び推薦書)の審査、小論文及び面接
	保健福祉学科子ども学専攻	



<令和3年度入学者選抜>

※下線部分が変更箇所

学 部	学 科	選抜方法
保健福祉学部	現代福祉学科	書類(調査書、推薦書及び志願理由書)の審査、小論文及び面接
	子ども学科	

(2) 実技検査等の配点の変更

<令和2年度入学者選抜>

学部	学科・専攻	実技検査等	配点	配点合計
保健福祉学部	保健福祉学科 社会福祉学専攻 子ども学専攻	小論文	200点	300点
		面接及び書類の審査	100点	



<令和3年度入学者選抜>

学部	学科	実技検査等	配点	配点合計
保健福祉学部	現代福祉学科 子ども学科	小論文	200点	400点
		面接及び書類の審査	200点	

(3) 出願要件の変更

<令和2年度入学者選抜>

学部	要件
保健福祉学部	<u>(保健福祉学科)</u> 1 調査書の全体の評定平均値が 4.0 以上ある者 2 推薦できる人数は、1 高等学校につき、社会福祉学専攻で 2 人まで、子ども学専攻で 1 人までとします。



<令和3年度入学者選抜>

学部	要件
保健福祉学部	<u>(現代福祉学科)</u> 1 調査書の全体の評定平均値が 4.0 以上ある者 2 推薦できる人数は、1 高等学校につき、2 人までとします。
	<u>(子ども学科)</u> 1 調査書の全体の評定平均値が 4.0 以上ある者 2 推薦できる人数は、1 高等学校につき、2 人までとします。

3 総合型選抜の導入

(1) 募集人員

学 部	学 科	募集人員
保健福祉学部	現代福祉学科	3人

(2) 選抜日程等

学 科	出願期間	試験日	合格発表	入学手続
現代福祉学科	令和2年 9月初旬以降	令和2年 9月下旬以降	令和2年 11月以降	令和2年 12月中旬以降

(3) 選抜方法

学 部	学 科	選抜方法
保健福祉学部	現代福祉学科	書類(調査書及び志願理由書)及び面接 なお、面接においては、一般教科(現代社会、倫理又は 政治・経済)に関する試問を行う

(4) 実技検査等の配点

実技検査等	配点	配点合計
面接及び書類の審査	100点	100点

(注) 大学入学共通テストは課しません。

(5) 出願要件

次のア、イ、ウいずれかに該当し、かつエに該当する者

ア 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和3年3月卒業見込みの者

イ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和3年3月修了見込みの者

ウ 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和3年3月31日までにこれに該当する見込みの者

〔学校教育法施行規則第150条第7号の規定により本学への出願を希望する者は、あらかじめ入学資格の認定を受ける必要があります。〕

エ 本学での勉学及び地域社会や国際社会における諸活動への参加に強い意欲があり、合格した場合必ず入学することを確約できる者

令和3年度入学者選抜における変更《デザイン学部》

1 募集人員の変更（一般選抜・学校推薦型選抜・総合型選抜）

<令和2年度入学者選抜>

※下線部分が変更箇所

学 部	学 科	入学 定員	左のうち			
			一般入試			推薦入試
			前期日程	中期日程	後期日程	
デザイン 学 部	デザイン工学科	40人	30人	—	—	10人
	造形デザイン学科	50人	38人	—	—	12人



<令和3年度入学者選抜>

※下線部分が変更箇所

学 部	学 科	入学定員	左のうち				
			一般選抜			学校 推薦型 選抜	総合型 選抜
			前期 日程	中期 日程	後期 日程		
デザイン 学 部	ビジュアルデザイン 学 科	30人	18人	—	—	8人	4人
	工芸工業デザイン 学 科	30人	18人	—	—	8人	4人
	建 築 学 科	30人	18人	—	—	8人	4人

2 出願要件の変更(学校推薦型選抜)

<令和2年度入学者選抜>

※下線部分が変更箇所

学 部	要 件
デザイン 学 部	次のいずれかに該当する者 <u>(1) 調査書の学習成績概評がA段階に属する者</u> <u>(2) 調査書の全体の評定平均値が3.6以上で、かつ、デザインの分野において特に秀でていると認められる者</u>



<令和3年度入学者選抜>

※下線部分が変更箇所

学 部	学 科	要 件
デザイン 学 部	ビジュアルデザイン 学 科	次のいずれかに該当する者 <u>(1) 調査書の学習成績概評がA段階に属する者</u> <u>(2) 調査書の全体の評定平均値が3.5以上で、かつ、学科の専門に関連する分野(美術・デザイン等)において特に秀でていると認められる者</u>
	工芸工業デザイン 学 科	

	建築学科	次のいずれかに該当する者 (1) 調査書の学習成績概評がA段階に属する者 (2) 調査書の全体の評定平均値が3.5以上で、かつ、学科の専門に関連する分野(建築・美術・デザイン等)において特に秀でていと認められる者
--	------	--

3 選抜方法及び配点の変更(学校推薦型選抜)

<令和2年度入学者選抜>

※下線部分に変更箇所

学部	実技検査等	配点	配点合計
デザイン学部	実技(鉛筆デッサン)	<u>100点</u>	<u>200点</u>
	面接及び書類の審査	<u>100点</u>	

(注)センター試験は課しません。書類の審査は調査書及び推薦書によります。



<令和3年度入学者選抜>

※下線部分に変更箇所

学部	学科	実技検査等	配点	配点合計
デザイン学部	ビジュアルデザイン学科	実技(想定描写を含む鉛筆デッサン)	<u>200点</u>	<u>400点</u>
		面接及び書類の審査	<u>200点</u>	
	工芸工業デザイン学科	実技(鉛筆デッサン)	<u>200点</u>	<u>400点</u>
		面接及び書類の審査	<u>200点</u>	
	建築学科	小論文	<u>150点</u>	<u>300点</u>
		面接及び書類の審査	<u>150点</u>	

(注)大学入学共通テストは課しません。書類の審査は調査書、推薦書及び志願理由書によります。

4 総合型選抜の導入

(1)募集人員

学部	学科	募集人員
デザイン学部	ビジュアルデザイン学科	4人
	工芸工業デザイン学科	4人
	建築学科	4人

(2) 選抜日程等

学 部	学 科	出願期間	試験日	合格発表	入学手続
デザイン学部	ビジュアルデザイン学 科	令和2年 9月初旬 以降	令和2年 9月下旬以 降	令和2年11月 以降	令和2年12月 中旬以降
	工芸工業デザイン学 科				
	建 築 学 科				

(3) 選抜方法

学 部	学 科	選抜方法
デザイン学部	ビジュアルデザイン学 科	書類(調査書及び志願理由書)の審査、実技(与えられた条件(図や文章)を満たす立体物の描写)及び面接
	工芸工業デザイン学 科	書類(調査書及び志願理由書)の審査、実技(鉛筆デッサン)及び面接
	建 築 学 科	書類(調査書及び志願理由書)の審査、実技(与えられた条件(図や文章)を満たす立体物の作図)及び面接

(注) 大学入学共通テストは課しません。

(4) 実技検査等の配点

学 部	学 科	実技検査等	配 点	配点合計
デザイン学部	ビジュアルデザイン学 科	実技(与えられた条件(図や文章)を満たす立体物の描写)	200点	400点
		面接及び書類の審査	200点	
	工芸工業デザイン学 科	実技(鉛筆デッサン)	200点	400点
		面接及び書類の審査	200点	
	建 築 学 科	実技(与えられた条件(図や文章)を満たす立体物の作図)	150点	300点
		面接及び書類の審査	150点	

(5) 出願要件

次のア、イ、ウいずれかに該当し、かつ本学での勉学に強い意欲があり、合格した場合必ず入学することを確約できる者

ア 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和3年3月卒業見込みの者

イ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和3年3月修了見込みの者

ウ 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和3年3月31日までにこれに該当する見込みの者

[学校教育法施行規則第150条第7号の規定により本学への出願を希望する者は、あらかじめ入学資格の認定を受ける必要があります。]